

- 問1 日本の自動車工業の分布を概観すると、愛知県付近のほか、関東地方の平野部や九州地方北部にも工場の集積が確認できます。自動車の生産において、このように関連する工場が特定の地域に集まって立地する理由として、最も適切な説明を選択してください。（2023年 福井県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉄鋼やセメントといった重量のある原材料を、原料産地から直接バイブラインで各工場へ輸送する必要があるから | 2. 製品が極めて小型で軽量であるため、高速道路や空港に近い平野部であれば部品工場の場所を問わないから | 3. 数万点に及ぶ膨大な数の部品を効率よく調達するため、組み立て工場と部品工場が密接に連携する必要があるから | 4. 製造工程のすべてに大量の冷却水が必要とするため、大規模な河川の河口付近に工場を集中させる必要があるから |
|--|---|--|--|
- 問2 日本国内の旅客流動において、東京を目的地とする移動手段を調査したところ、愛知県からの移動では鉄道が圧倒的に多く利用されている一方、福岡県や北海道からの移動では航空機の利用者が非常に多いという結果が見られました。このような、移動距離によって利用される交通手段が変化する傾向について、正しい説明はどれですか。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 移動距離が長くなるほど、途中下車が可能な鉄道の利用が増える傾向にある。 | 2. 移動距離が短いほど航空機が優先され、所要時間の短縮が図られる。 | 3. 移動距離に関わらず、運賃の安さから常に鉄道が第一の選択肢となる。 | 4. 移動距離が長くなるほど、速い航空機の利用割合が高まる傾向にある。 |
|--|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問3 21世紀以降の日本の農業に関する統計において、2005年から2015年の10年間で、農業就業人口は約330万人から約200万人へと大幅に減少し、経営耕地面積の合計も約470万ヘクタールから約440万ヘクタールへと減少しています。このような日本の農業の現状を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 農業就業人口は横ばいであるが、海外からの安価な農産物の輸入が増えた影響で、国内の経営耕地面積を意図的に減らしている。 | 2. 農業就業人口が減少する中で、特に65歳以上の割合が極めて高い高齢化が進行しており、それに伴って経営耕地面積も減少傾向にある。 | 3. 若者の新規就農者が急増したことで農業就業人口の若返りが進んでいるが、宅地開発の影響で経営耕地面積のみが減少している。 | 4. 農業の機械化や大規模化が進んだ結果、農業就業人口は減少したが、一戸あたりの耕地が拡大したため経営耕地面積の合計は増加している。 |
|---|---|---|--|
- 問4 少子高齢化が進み、人口ピラミッドにおいて生産年齢人口（15歳から64歳）の割合が減少していく日本の社会において、今後懸念される社会保障制度の課題として最も適切な説明はどれですか。（2025年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 若年層の人口が急増するため、義務教育の施設整備にかかる公的支出が大幅に増加する。 | 2. 現役世代の減少により、年金や医療などの費用を支える一人あたりの負担が重くなる。 | 3. 高齢者の割合が低下するため、介護サービスの需要が減り、関連する国家予算が余る。 | 4. 労働力人口が過剰になることで、都市部における若者の失業率が深刻な社会問題となる。 |
|---|--|--|---|
- 問5 日本の食料自給率に関する統計において、1970年には約90%であった自給率が、食生活の変化などを背景に2015年には約40%まで低下した品目があります。この品目は、国内生産量が約400千トンで推移しているのに対し、国内消費量が約1400千トンにまで急増していますが、該当する畜産物として正しいものを選択してください。（2018年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|-------|------|
| 1. 牛肉 | 2. りんご | 3. 鶏卵 | 4. 米 |
|-------|--------|-------|------|
- 問6 1920年ごろの日本の人口ピラミッド（富士山型）と、2015年ごろの人口ピラミッド（つば型）を比較した説明として、背景や特徴を正しく述べているものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 2015年ごろは1920年ごろに比べて出生率が大きく低下しており、年少人口の割合が減少している。 | 2. 1920年ごろは2015年ごろに比べて平均寿命が長かったため、ピラミッドの頂上部が広がっている。 | 3. 2015年ごろは1920年ごろに比べて乳児死亡率が高いため、ピラミッドの底辺が狭くなっている。 | 4. 1920年ごろは2015年ごろに比べて少子高齢化が進んでいたため、ピラミッドの底辺が最も広い。 |
|---|---|--|--|
- 問7 日本の発電施設のうち、最大出力が大きい水力発電所の分布について述べたものとして最も適切なものはどれですか。なお、水力発電所は河川などの水の落差を利用して発電を行う施設です。（2024年 愛媛県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大規模な航空機の離着陸が行われる国際空港の周辺や、騒音の影響が少ない広大な沿岸部に集中して分布している。 | 2. 人口が集中し、電力消費量が多い東京・大阪・名古屋などの大都市近郊の平坦な土地に多く分布している。 | 3. 標高が非常に高く、年間を通じて気温が氷点下となるような高山帯の山頂付近に集中的に分布している。 | 4. 飛騨山脈・木曾山脈・赤石山脈からなる日本アルプス周辺や、東北地方の主要な河川沿いの山間部に多く分布している。 |
|---|---|--|---|
- 問8 千葉県、埼玉県、高知県、福岡県の4県の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれか、次の中から選びなさい。（2016年 千葉県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 高知県は、なすの生産量が約36,700tと多いが、昼夜間人口比率は4県の中で最も低い。 | 2. 千葉県は、花の産出額が約270億円に達しており、4県の中で最も高い。 | 3. 埼玉県は、はくさいの生産が盛んであり、花の産出額も4県の中で最も高い。 | 4. 福岡県は、いちごの生産量が約17,500tと多いが、総面積は約7,105km ² で4県の中で最大である。 |
|--|---------------------------------------|--|---|
- 問9 現代の日本において、福岡市のような大都市圏では第3次産業に従事する人の割合が非常に高くなっています。都市部において、農村部と比較して第3次産業が発達する理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 自然環境を活かした観光資源が豊富であり、キャンプ場や林業の経営が主な収益源だから | 2. 人口が密集しており、多様な生活を支える小売業やサービス業への需要が非常に大きいから | 3. 原料の輸入に便利な港湾施設が整備されており、鉄鋼や化学製品などの製造が中心だから | 4. 平坦で広い土地を確保しやすいため、大規模な機械化農業を行う環境が整っているため |
|---|--|---|--|
- 問10 山口県美祢市などの内陸部では、セメント工業が発達しています。これは、製品の主な原料となる石灰石が非常に重く、製造の過程で重量が減少するため、原料の産地近くに工場を建設したほうが輸送コストを抑えられるからです。このように、原料の産地付近に立地する工業の形態を何といいますか。（2024年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 労働力指向型工業 | 2. 臨海指向型工業 | 3. 原料指向型工業 | 4. 市場指向型工業 |
|-------------|------------|------------|------------|
- 問11 ある地域の農業グループの事例では、ドローンを個人で所有・利用する場合の経費が87万円かかるのに対し、グループで2台のドローンを共同利用した場合は一人あたりの経費が33万円まで抑制されています。このような「共同利用」の仕組みが日本の農業経営に与える影響として、適切なものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------------|--|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 機械の導入経費や管理コストが下がることで、農業経営の安定に寄与する。 | 2. 個人で所有する場合に比べて補助金の受給額が減り、実質的な負担が増える。 | 3. 機械を利用できる時間が制限されるため、収穫量が大幅に減少する。 | 4. 共同で所有することで個人の責任が曖昧になり、機械の故障が増加する。 |
|---------------------------------------|--|------------------------------------|--------------------------------------|